

1. 事業の位置付け

事務事業名	応急手当の普及・啓発事業		
事業担当	消防本部 消防救急課		
予算科目	01-090101-040000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心できる生活を支援する	
	02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
講習受講修了者数が増え、救命率の向上が図られています。		救急患者の救命率向上のため、応急手当講習会、普通救命講習会を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	普通救命講習会開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			50	100	100			
	実績			95					
活動指標②	指標名	応急手当講習会開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			24	85	85			
	実績			82					
成果指標①	指標名	普通救命講習修了者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			1,500	3,000	3,300			
	実績			3,225					
成果指標②	指標名	応急手当講習修了者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			1,100	2,400	2,400			
	実績			2,358					
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
一般市民に向けて、毎月9日を救急講習日と定めチラシ等で広報することで、個人での受講体制を確立した。また、職員が事業所等に出張することにより講習会の開催回数を増やし、救命率の向上に寄与した。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	救命に関する市民ニーズが高まる中、普通救命講習、応急手当講習を開催し受講者が増えることから、事業の必要性が高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	普通救命講習、応急手当講習を受講することにより、救命の関心が高まり、自動体外式除細動器（AED）を使用できる人が増えることで、事業の有効性が高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制（人員配置、業務分担） <input type="checkbox"/> その他	応急手当普及員講習、普通救命講習は、指導員の資格が必要であるため、消防職員が実施する。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法（民活の余地、事業形態の検討） <input type="checkbox"/> その他	普通救命講習の受講者の増員を図るため、一般企業に対し応急手当普及員講習を実施し、普及員による普通救命講習を依頼することで効率的に受講者の増員を図る。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		一般企業に対しての普通救命講習、応急手当講習を広めるとともに、指導者の応急手当普及員の養成を図る。		

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				講習会の開催	講習会の開催	講習会の開催		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	558	309	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	1,353	619	849	0	0
事業費 (A)		0	0	1,911	928	849	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	225.09				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	6,253	6,253	6,253	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	8,164	7,181	7,102	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 普通救命講習、応急手当講習の開催を繰り返し実施することで、受講者の増加を図る。	
平成21年度の実施方針	
個人対象、事務所・団体対象、市職員対象、教育機関対象など各分野ごとに講習会を増やすとともに、指導員育成のため応急手当普及員講習を開催する。	
課長コメント	平成19年度は、前年度の2倍の市民が講習を受講した。 平成20年度は、主たる市公共施設に自動体外式除細動器（AED）が配備されることから、市職員の講習受講者の増加させながら、事業を継続していく。